

総務課 事業報告

第3次社協発展強化計画のミッション

1. 胎内市社会福祉協議会は、住民同士のつながりを深め、問題をみんなのこととして考えられる地域づくりを目指します。
2. 胎内市社会福祉協議会は、みんなが安心して笑顔で暮らせる地域づくりを目指します。

【 総務係 】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①災害対策では、災害時に迅速に行動できる体制づくりを目指して職員研修を予定したが、豪雨災害発生により支援活動のため職員派遣を行ったことで実地体験ができた。
- ②会費事務では、地域福祉員会（区長）で事業説明と会費の必要性を説明し協力をお願いをした。また、理事・評議員の皆様には取りまとめのご協力をいただき、前年度とほぼ同様の会費をいただくことができた。
- ③発展・強化計画進捗管理事業では、第5次発展強化計画の策定のため、各係代表者でチームを作り、第4次発展強化計画の評価を踏まえて策定した。

1. 地域づくり環境整備推進事業

《新しい周知方法を検討する》

- ・社協だよりや地域福祉委員会で助成内容の周知を図った。
- ・ホームページにチラシ及び入力できるWord形式の申請書の掲載を行った。

◆業務実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	8件	7件	4件	10件	5件
申請件数	4件	5件	2件	6件	3件
助成件数	4件	5件	2件	6件	3件
助成額計	167,000円	200,000円	96,000円	252,000円	148,000円

2. 災害見舞金支給事業

《滞りなく贈呈する》

- ・防災無線等で火災等の情報が流れた時は、市の交通防災係に確認した。
- ・県北豪雨災害で床上浸水された世帯へ見舞金（14件）を贈呈した
- ・火災見舞金（1件）を贈呈した。

◆見舞金実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
件数	2件	4件	0件	1件	15件
見舞金額額	20,000円	40,000円	0円	30,000円	150,000円

3. 災害対策

《災害時に速やかに行動できる体制作り》

- ・災害ボランティアセンターについて職員研修を予定していたが、8月に県北豪雨災害が発生し、村上市及び関川村の災害ボランティアセンター支援のため、職員派遣を行ったことで実地体験ができた。

◆県北豪雨災害 災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先	実派遣数	延べ回数	実派遣日数	派遣内容等
村上市災害 VC	16 人	42 回	18 日	受付・マッチング業務等
関川村災害 VC	6 人	10 回	9 日	マッチング業務
合 計	16 人	52 回	21 日	

◆備蓄品の状況（社協用）

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
保存水数	1.5L×160 本	2.0L×120 本	2.0L×120 本	2.0L×120 本	2.0L×120 本
保存食内容	缶入りカンパン	ビスコ ハーベスト	ビスコ ハーベスト	ビスコ ハーベスト	ビスコ ハーベスト
保存食個数	144 缶	60 袋/40 缶	60 袋/40 缶	60 袋/40 缶	60 袋/40 缶

4. 社協だよりの発行事業

《市民に見やすく、わかりやすい記事づくりに努める》

- ・他市町村の広報誌を参考にしながら読みやすさ・見やすさを考え構成し、また、経費削減を考慮しながら紙面作りを行った。
- ・広報部会では、社協だよりの現状報告とアンケートを実施し、委員より意見をいただき来年度計画に反映することができた。

◆社協だよりの発行

号数	発行月	発行部数	表紙の内容
第 200 号	4 月 30 日	10,400 部	新一年生見守り事業
第 201 号	6 月 30 日		お茶の間サロンの紹介・共同募金助成金の交付について
第 202 号	7 月 30 日		たいないきれい隊報告・24 時間テレビの活動について
第 203 号	8 月 30 日		県北豪雨災害による災害支援・看護師募集
第 204 号	9 月 30 日		赤い羽根共同募金運動のお知らせ
第 205 号	10 月 30 日		職場体験・1 年生の職ナビゲーション・看護師募集
第 206 号	11 月 30 日		ボランティアフェスティバル開催報告
第 207 号	12 月 28 日		お元気訪問報告・年頭のあいさつ
第 208 号	1 月 30 日		ボランティア交流会の案内・おもちゃ病院案内・寄付報告

第 209 号	2 月 28 日		きっかけ作り講座報告・交流会案内
---------	----------	--	------------------

◆市報たいたないにおける紙面発行

発行月	依頼先	紙面サイズ	内 容
6 月 1 日号	胎内市	街の連絡帳欄へ	たいたないきれい隊・ボランティア初心者講座案内
6 月 15 日号	胎内市	街の連絡帳欄へ	高齢者ふれあい昼食会案内

5. ホームページの管理運営

《職員がホームページを有効活用できる》

- ・各担当者が更新回数を増やし、最新情報の発信に努めた。
- ・チームで見やすいホームページにするための検討を重ね、ホームページの必要性を再認識することができた。

◆閲覧状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
閲覧件数 (カウンター数)	—	—	222,717 件 (502,577)	412,395 件 (914,972)	209,597 件 (1,124,569)

6. 胎内市社会福祉大会の開催

《案内先を増やし、多くの市民に参加してもらう》

- ・胎内市産業文化会館の改修工事に伴い、今年度は中止した。

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
第 1 部 表彰者数	6 人	3 人	中止	13 人	中止
第 2 部 内 容	堀尾正明氏	木原 実氏	〃	県警音楽隊	〃
来場者数	392 人	242 人	〃	230 人	〃

7. 会費事務

《会費について、理解してもらう》

- ・地域福祉委員会（区長）で事業説明と会費の必要性を説明し協力をお願いをした。また、理事・評議員の皆様には取りまとめのご協力をいただき、前年度とほぼ同様の会費をいただくことができた。
- ・社協だよりで社協会費について掲載し周知した。

◆社協会費の状況

(単位：円)

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
一般会費	4,239,950	4,264,720	4,230,495	4,221,285	4,240,900
賛助会費	1,347,000	1,295,000	1,292,000	1,261,000	1,226,000
特別会費	1,293,000	1,266,000	実施なし	1,209,000	1,176,000
計	6,879,950	6,825,720	5,522,495	6,691,285	6,642,900

8. 寄付金関係事務

《寄付金への理解に努める》

- ・寄付者の意思に基づき各事業に繰入れ、活用することができた。
- ・寄付報告の掲載を通して、社協の理解につなげた。

◆寄付金・寄付物品の状況

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
寄付金件数	18件	11件	9件	12件	16件
寄付金額	126,671円	278,000円	327,150円	677,304円	1,570,718円
物品件数	31件	29件	46件	36件	29件
主な物品	タオル・紙 おむつ等	タオル・紙 おむつ等	災害用移動炊飯 器・ワタッパ等	タオル・紙 おむつ等	手作り品・介護 用品・タオル・ 紙おむつ等

9. 雇用・採用の人事に関する事務及び事務分担

《適正な事務分担を行う》

- ・正規職員 退職者1人（定年退職なし）
- ・臨時職員 採用者5人、退職者7人。
- ・介護事業の利用実績や収益状況に応じて、令和5年度の職員配置を行った。
- ・自己申告書の提出により、業務量や業務に対する意向を確認した。

10. 規程・規則関係

《遅滞なく規程改正を行う》

- ・職員給与規程及び臨時職員就業規則及び別表の一部改正を行った。
- ・ハラスメント防止に関する規程の新設を行った。
- ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正を行った。

11. 財務事務

《資金の見通しを確認しながら各種事務を行う》

- ・適正な会計処理を行った。
- ・通帳残高を中支払や月末支払時などに定期的に確認し、資金の見通しを立てながら、各種事務を行った。
- ・定期的に巡回監査の指導を受けた。（4・7・9・11・1・3月）

12. 給与・福利厚生事務

《①適正な給与事務を行う ②職員の健康管理に努める》

- ・給与規程に基づき適正に給与・賞与を支給した。
- ・採用者5人、退職者8人、再任用者2名があり、事務の諸手続きを行った。
- ・労災補償保険関係の申請を2件行った。
- ・コロナウイルスワクチン接種とインフルエンザ予防接種を行った。

13. 理事会、評議員会等の開催

《適正に会議を開催する》

- ・必要性を検討し、適切な回数で会議を開催した。

◆理事会

回数	開催日時	内容
第1回	6月1日(水) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中9名 監事2名 ・令和3年度事業報告及び決算 ・理事の選任について ・評議員の選任について ・職員就業規則の一部改正について ・ハラスメント防止に関する規程の新設について ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・定時評議員会の招集について
第2回	12月6日(火) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中11名 監事2名 ・令和4年度資金収支補正予算(第1号) ・理事の選任について ・評議員の選任について ・第2回評議員会の招集について
第3回	3月8日(水) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中11名 監事1名 ・令和4年度資金収支補正予算(第2号) ・職員給与規程の一部改正について ・令和5年事業計画及び資金収支予算について ・第3回評議員会の招集について

◆共同募金運営委員会

回数	開催日時	内容
第1回	6月1日(水) 14:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中9名 監査人2名 ・令和3年度事業報告及び決算について ・運営委員の選任について ・令和4年度助成計画について
第2回	12月6日(火) 14:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中11名 監査人2名

第3回	3月8日(水) 14:30~	<ul style="list-style-type: none"> ・共同基金の実績について 会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数13名中11名 監査人1名 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度事業計画・資金収支予算について
-----	-------------------	--

◆評議員会

回数	開催日時	内 容
第1回	6月16日(木) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数27名中23名 理事3名 監事2名 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・令和3年度事業報告及び決算について
第2回	12月14日(水) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数27名中18名 理事3名 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について ・令和4年度収支補正予算(第1号)
第3回	3月22日(水) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数27名中21名 理事2名 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度資金収支補正予算(第2号) ・令和5年度事業計画及び資金収支予算について

◆監事会

回数	開催日時	内 容
第1回	5月17日(火) 13:30~	会 場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数2名中2名 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 事業報告、会計収支決算報告 ・令和3年度 共同基金事業報告、会計収支決算報告

◆地域福祉委員会

地 区	開催日時	内 容
中条地区	6月20日(月) ① 13:30~	【4地区 同じ内容で行いました】 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会と災害ボランティアセンターの連携について ・補助金、助成金等のご案内について ・会費、共同基金協力をお願い 会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：総数70名中53名

	② 15:00～	※コロナ感染予防のため、2回に分けて開催しました
黒川地区	6月21日(火) ① 13:30～ ② 15:00～	会 場：黒川地区公民館「他産業研修室」 出席者：総数31名中25名 ※コロナ感染予防のため、2回に分けて開催しました
乙地区	6月24日(金) 10:00～	会 場：きのと交流館「大広間」 出席者：総数19名中15名
築地地区	6月24日(金) 13:30～	会 場：築地環境改善センター「多目的ホール」 出席者：総数16名中12名

◆評議員選任・解任委員会

回数	開催日時	内 容
第1回	6月7日(火) (書面決議)	出席者：総数5名中5名 ・評議員の選任(4名)について
第2回	12月19日(月) (書面決議)	出席者：総数5名中5名 ・評議員の選任(2名)について

14. 各種部会関係

《各事業の現状と課題を委員に報告し、理解を得ながら事業を進める》

- ・必要性を検討し、コロナウイルス対策を行い開催した。
- ・広報部会を年2回開催にした。

◆総務部会

回数	開催日時	内 容
第1回	5月19日(木) 13:30～	会 場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：会長1名、副会長2名、部会長2名 ・地域づくり環境整備推進事業助成交付審査について ・第1回理事会の議案等について ・第1回運営委員会の議案等について
第2回	11月28日(月) 13:30～	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」 出席者：会長1名、副会長2名、部会長1名 ・地域づくり環境整備推進事業助成交付審査について ・第2回理事会の議案等について ・第2回運営委員会の議案等について
第3回	3月1日(水)	会 場：ほっとHOT・中条「大会議室」

		出席者：会長1名、副会長2名、部会長3名 ・第3回理事会の議案等について ・第3回運営委員会の議案等について
--	--	--

◆広報部会

回数	開催日時	内容
第1回	10月3日(月) 10:00~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中5名 ・広報活動について
第2回	2月27日(月) 10:00~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中5名 ・広報活動について

◆地域福祉部会

回数	開催日時	内容
第1回	10月25日(火) 10:00~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中5名 ・地域福祉事業の実施状況について
第2回	2月24日(金) 10:00~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中4名 ・地域福祉事業の実施状況について

◆介護保険事業部会

回数	開催日時	内容
第1回	10月28日(金) 13:30~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中4名 ・介護保険事業について
第2回	2月21日(火) 10:00~	会場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中5名 ・介護保険事業について

15. 苦情第三者委員会の運営

《①相談しやすい環境をつくる ②苦情申し出者に適切に対応する》

- ・委員会は協議事案がなかったため、開催しなかった。
- ・相談をしやすい環境づくりのために苦情第三者委員会について、社協だより・ホームページで紹介した。

16. 職員研修

《必要な研修を計画的に進める》

- ・スキルアップにつながるような研修内容を、研修担当チームで検討し実施した。

◆職員研修会

開催日	内容
11月25日(金)	相続に関する研修(全職員)

17. 各団体事務

《各団体の運営がスムーズに行われる》

- ・各団体の会長及び県や市の担当者などに連絡・相談をしながら遂行した。
- ・コロナウイルス対応として、行事の中止及び縮小開催となる事業が多くあった。

◆団体先

胎内市老人クラブ連合会	胎内市手をつなぐ育成会
胎内市中条母子会	胎内市ろうあ協会
胎内市中条地区遺族会	胎内市身体障害者福祉協会
胎内市黒川地区遺族会	胎内市ボランティア連絡協議会

18. 表彰関係事務

《該当する対象者を滞りなく推薦する》

- ・関係機関に推薦依頼を行い、各種表彰に繋げた。

◆表彰の状況

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
全国社協会長表彰	6人	4人	なし	3人	5人
新潟県社協会長表彰	3人	1人	3人	6人	6人
新潟県共募協会長表彰	なし	2人	1人2団体	1人	5人
胎内市社協会長表彰	4人	1人	中止	7人	中止
胎内市社協感謝状	2人	2人	中止	1事業所 1団体4人	中止
その他の表彰	厚生労働大臣賞 1団体	なし	なし	なし	なし

19. 電算関係事務

《業務に支障が出ない環境づくりに努める》

- ・サーバーの部品に不具合が見つかり交換した。

◆パソコンの管理状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
本 所	28 台	28 台	26 台	28 台	29 台
栗木野荘	5 台	4 台	4 台	4 台	
いわはら荘	5 台	4 台	5 台	3 台	6 台
計	38 台	36 台	35 台	35 台	35 台
サーバー	2 台	2 台	1 台	1 台	1 台

20. 車両管理事務

《安全に業務が遂行できるよう、適切な事務処理を行う》

- ・乗車前のアルコールチェックを実施し、安全な業務の遂行に努めた。
- ・各係の車両担当と連携し、業務に支障が出ないよう随時事務手続き等を行った。

◆車両台数の管理状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
本 所	16 台	15 台	15 台	14 台	14 台
栗木野荘	4 台	4 台	4 台	移管 0 台	
いわはら荘	4 台	4 台	4 台	5 台	5 台
計	24 台	23 台	23 台	19 台	19 台

21. マイクロバス管理事業

《事故なく安全に貸出ができるように努める》

- ・車輛の老朽化に伴い、バス購入助成の申請をした。
- ・運行規則を遵守し、感染対策に努めながら貸出しを行なった。

◆バスの運行状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
お茶の間サロン	34 回	33 回	2 回	5 回	11 回
福祉団体等	14 回	18 回	1 回	0 回	0 回
福祉施設等	9 回	5 回	1 回	3 回	1 回
市役所	4 回	6 回	0 回	1 回	0 回
社協事業	6 回	4 回	2 回	0 回	5 回
計	67 回	66 回	6 回	9 回	17 回

22. 発展・強化計画進捗管理事業

《第4次発展・強化計画の評価を行う》

- ・第5次発展・強化計画を策定するため、チームを作り7回の打合せを行い、第4次の評価を踏まえて策定した。
- ・各担当で期間ごとにモニタリングを行った。
- ・第5次発展・強化計画を踏まえて、令和5年度の予算に反映することができた。

◆発展・強化計画推進委員会の開催

回数	開催日時	内 容
第1回	2月17日(金) 10:00~	会 場：ほっとHOT・中条「ちえぶくろ」 出席者：総数5名中5名

◆第5次発展強化計画策定のチーム打合せ開催

回数	開催日時	内 容
第1回	5月30日(月) 16:00~	出席者：総数7名中6名 内 容：様式やミッションについて
第2回	6月14日(火) 16:00~	出席者：総数7名中7名 内 容：計画期間や様式について
第3回	7月27日(水) 16:00~	出席者：総数7名中6名 内 容：達成目標や年度毎の取り組みについて
第4回	11月15日(火) 16:00~	出席者：総数7名中7名 内 容：入力作業と作業予定について
第5回	12月19日(月) 16:00~	出席者：総数7名中4名 内 容：入力状況や数値目標等について
第6回	1月27日(金) 16:00~	出席者：総数7名中6名 内 容：表紙作成や校正確認について
第7回	2月6日(月) 16:00~	出席者：総数7名中5名 内 容：最終確認と今後の予定について

地域福祉課 事業報告

第3次社協発展強化計画のミッション

1. 胎内市社会福祉協議会は、住民同士のつながりを深め、問題をみんなのこととして考えられる地域づくりを目指します。
2. 胎内市社会福祉協議会は、みんなが安心して笑顔で暮らせる地域づくりを目指します。

【地域福祉係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①地域福祉活動計画進捗管理事業では、アンケートの結果から課題を整理し、課題を解決するための地域の取り組みを考え、ちゃぶ台プラン4の策定に努めた。
- ②地域支え合い支援推進事業では、各サロンや関係機関と連携し、必要な情報提供しながら住民が主体となった助け合いのしくみづくりにつながるよう支援できた。
- ③福祉教育・人材育成事業では、小・中学校、高校生を対象に高齢者疑似体験や、手話・点訳等体験をしてもらう事で、福祉や高齢者について興味や関心が持てるような機会を提供することができた。

1. 外出支援サービス事業

《無理なく安全に運行し、利用しやすいサービスとなるよう利用状況について分析・整理をする》

- ・同じ日の予約が集中したことや、調整ができない直前の依頼などがあったが、予約日や時間の変更をしてもらうなどの対応をし、なるべく利用につなげた。

◆利用実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録者人数 (高齢者)	223人	238人	181人	188人	211人
登録者人数 (障がい者)	66人	73人	61人	72人	74人
登録者人数 (ワクチン)			5人	70人	65人

◆業務実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
延べ利用人数 (高齢者)	865人	753人	637人	642人	574人
延べ利用人数 (障がい者)	286人	228人	201人	199人	184人

延べ利用人数 (ワクチン)			5人	176人	110人
断った件数	35件	41件	21件	25件	24件

2. 車椅子貸与事業

《利用しやすいサービスとなるよう、安全で適切な貸出しを行う》

・車イスの点検を行い、安全に貸し出しを行った。

◆業務実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
実貸出人数	27人	34人	10人	26人	26人
延べ貸出台数	38台	38台	13台	34台	27台

3. 障がい者・児紙おむつ等支給事業

《事業内容を検討する》

・利用者の状況を把握し、新規申請3名の支給を行った。

◆業務実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
第1回(4月)	10人	10人	9人	8人	8人
追加(6月)	—	—	—	—	1人
第2回(8月)	10人	9人	9人	9人	10人
第3回(12月)	10人	9人	9人	9人	11人
追加(1月)	—	—	—	—	1人

4. 除雪費助成事業

《状況を踏まえ、事業内容(対象者の範囲等)の検討、協議を行う》

・民生委員等との情報提供、市役所担当課との連携をしながら行った。

・市民への情報を周知しながら行った。

◆業務実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
独居高齢者	26件	1件	106件	94件	105件
高齢者のみ世帯	6件	—	31件	19件	24件
障がい者世帯	4件	—	9件	4件	1件
女子と児童	—	—	2件	2件	2件
その他の世帯	—	—	3件	3件	3件
合計	36件	1件	151件	122件	135件
助成額(円)	188,810	10,000	1,240,473	997,057	1,013,730

5. ふくし雪のけ支援事業

《事業内容（除雪活動範囲等）の検討、協議し、利用しやすいサービスとなるよう、状況を確認する》

- ・申請者の状況を把握しながら支援に努めた。

◆業務実績

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
登録数（個人）	4 人	4 人	4 人	6 人	5 人
登録数（団体）	—	1 団体	1 団体	0 団体	1 団体
支援依頼数	—	—	1 件	1 件	2 件

6. 障がい者ファックス等助成事業

《適切な助成をする》

- ・必要性を確認しながら、市と連携し事業を継続した。

◆業務実績

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
実利用者人数	6 人	6 人	6 人	6 人	6 人
延べ利用者数	72 人	72 人	72 人	72 人	72 人

7. 新一年生見守り事業

《①安心して新 1 年生が学校生活を送るために適切な支援を行う ②見守り体制等の把握した状況を基に見直し、検討を行う》

- ・見守り体制や要望の聞き取りを行い、要望を考慮した防犯ブザーを贈呈した。

◆業務実績

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
贈呈件数	248 個	223 個	196 個	212 個	177 個
贈呈内容	防犯ブザー	防犯ブザー	防犯ブザー、 熊よけ鈴	防犯ブザー	防犯ブザー

8. 地域支え合い推進事業 《ほのぼの茶屋運営事業》

《参加者全員が安心して暮らせる居場所づくりを進める》

◆業務実績

- ・感染予防に努め、月木利用はグループ分けし、7人から8人とした。
- ・7月22日～9月末はコロナ感染予防のため閉所。昼食会は引き続き中止とした。
- ・筆ペン教室は6月のみ実施した。
- ・R3年2月に実施したアンケート結果に基づき、6月に世話人・利用者との意見交換会を行った。
- ・ほのぼの茶屋だよりを毎月発行した。

◆利用状況

年度/内容		H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
月・木曜日	延べ利用日数	96 日	82 日	72 日	60 日	62 日
	延べ利用人数	1,524 人	1,484 人	499 人	416 人	429 人
水・筆ペン	延べ利用日数		42 日	9 日	7 日	7 日
	延べ利用人数		330 人	85 人	63 人	46 人
部屋貸し延回数		52 回	48 回	14 回	16 回	13 回

9. 地域支え合い推進事業 《お茶の間サロン推進・支援事業》

《お茶の間サロン活動の調査結果を分析し、地域における課題の整理と支援方法について検討する》

◆業務実績

- ・支え合い体制づくりに向けてお茶の間サロンの新規立上げ、運営支援、現状について実態把握を行った。またコロナ禍で活動が自粛されることが多く見られる中でつながりを絶やさず、地域支え合い活動の拠点として機能するようにスタッフと運営支援について共有を図り、再開に向けた取り組みを行った。
- ・3地区がコロナ禍で活動を休止し、再開の目途付かず。(築地新、桃崎浜、熱田坂)
- ・コロナ感染拡大傾向により、7月20日～8月31日まで支援は休止した。

◆市内サロンの状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
サロン把握数	74 団体	72 団体	76 団体	79 団体	76 団体
新規設置数	4 団体	3 団体	—	—	—
実支援地区数			30 地区	36 地区	38 地区
延べ支援回数			80 回	113 回	118 回

【お茶の間サロン情報交換会】

開催日	会場	内容	参加者
11月4日(金)	中条 グランドホテル	お茶の間サロンリーダー研修会	53人
3月16日(木)	新潟県 少年自然の家	お茶の間サロン代表者・ 介護予防リーダー合同交流会	66人

10. 地域支え合い推進事業 《生活支援体制整備事業》

《①地域の課題把握に努め、課題解決に向けた話し合いを行う②通いの場が仲間づくり、相談できる場となり継続的に開催することができる》

- ・感染予防に努め、水曜日・金曜日でグループ分けをして行った。
- ・交流を通じて、仲間づくりや相談できる場になるように努めた。
- ・地域懇談会は中止。利用状況について近隣区長さんに実績報告をした。

◆実績報告

報告月	内 容
3月	ほのぼの茶屋周辺（11 集落）区長へ令和4年度通いの場報告

◆ほのぼの茶屋近隣通いの場運営状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延べ開催回数	49 回	46 回	49 回	69 回	73 回
実参加人数	/		14 人	15 人	16 人
延べ参加人数	462 人	423 人	393 人	299 人	377 人

※R2年度（R3. 1）～分散開催開始

1.1. 高齢者ふれあい昼食会開催事業

《事業継続に向けて、事業内容の検討を行い実施する》

- ・7月20日は中条地区、7月22日は築地・乙・黒川地区の分散開催とし、会場をロイヤル胎内パークホテルで計画をしていたが、市内におけるコロナ感染拡大のため中止した。

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
開催回数	2 回	2 回	1 回		
会 場	①瀬波温泉大観荘 ②ロイヤル胎内パークホテル	①瀬波温泉大観荘 ②ロイヤル胎内パークホテル	ロイヤル胎内パークホテル (分散2回)	コロナ感染拡大のため中止したが、令和元年度及び2年度の参加者178人に対して感染予防品や日用品をお届けした。	コロナ感染拡大のため中止したが、春に申込のあった参加者152人に対して11月に品物をお届けした。
内 容	①デマンドタクシーの利用と空き家について ②保育園児との交流	①熱中症と食中毒について ②保育園児との交流	緑竹縄による終活3つのポイント		
参加人数	①129 人 ②139 人	①164 人 ②141 人	①中条地区 72 人 ②その他 37 人		

1.2. ボランティアセンター推進事業 《ボランティアセンター運営事業》

《運営委員会内で意見、情報を共有し、取組みや各事業について協議、検討する》

- ・ボランティアセンター年間事業予定を確認し、各事業について協議したことで、ボランティア事業への理解を得ることができた。
- ・ボランティアセンター運営委員会を2回開催し、事業報告や事業実施内容について説明し、意見をもとに事業を進めた。

◆ボランティアセンターだよりの発行

発行月	内 容	発行部数
5月	きれい隊、初心者講座等の案内	150 部
1月	除雪ボランティア、きっかけづくり講座、災害ボランティア講座案内	150 部

13. ボランティアセンター推進事業 《ボランティア企画・講座事業》

《ボランティアセンター運営委員会で検討・協議し、実施する》

- ・市民を対象に、ボランティア活動の理解を深めることや、活動に対し関心や興味を持ってもらうきっかけづくりの場として、各プログラムを実施した。

◆技術ボランティア初心者講座（手話）

開催日	会場	内容	参加人数
6月30日（木）	ほっとHOT・中条	手話基本について	3人
7月1日（木）	〃	〃	3人
7月14日（木）	〃	〃	3人

講師：胎内市手話サークル「かえで」会員

◆技術ボランティア初心者講座（音声訳）

開催日	会場	内容	参加人数
7月2日（土）	ほっとHOT・中条	音声訳の基本について	3人
7月9日（土）	〃	〃	3人
7月16日（土）	〃	〃	3人

講師：胎内市音声訳「ひわの会」会員

◆技術ボランティア初心者講座（点訳）

開催日	会場	内容	参加人数
9月10日（土）	ほっとHOT・中条	点訳の基本について	1人
9月17日（土）	〃	〃	1人
10月1日（土）	〃	〃	1人
10月15日（土）	〃	〃	1人
10月29日（土）	〃	〃	1人
11月5日（土）	〃	〃	1人

講師：中条点訳グループ「ほたる」会員

◆ボランティアきっかけ講座

開催日	会場	内容	参加人数
2月2日（木）	ちえぶくろ	茶道（和みの会）	2人

14. ボランティアセンター推進事業 《ボランティア団体等育成支援事業》

《さまざまな課題や相談に対応できる体制づくりに努める》

- ・ボランティア活動者に、活動しやすい環境を整えるとともに活動者同士の交流や情報交換の場を設けた。

◆ボランティア登録人数及び団体数

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
個人登録者数	40人	39人	39人	39人	39人

団体登録数	111 団体	114 団体	114 団体	114 団体	110 団体
-------	--------	--------	--------	--------	--------

◆ボランティア保険の加入促進

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
活動保険	848 人	871 人	781 人	709 人	630 人
行事保険	1,341 人	1,449 人	967 人	486 人	1,368 人
総合補償	108 人	112 人	50 人	0 人	0 人
サロン保険	3,518 人	4,526 人	3,705 人	3,472 人	4,959 人

◆ボランティアルーム利用状況（ちえぶくろ）

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延利用回数	318 回	289 回	358 回	269 回	337 回
延利用人数	2,512 人	2,200 人	2,157 人	1,559 人	2,284 人

◆ボランティアルーム利用状況（げんきななかま）

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延利用回数	169 回	201 回	394 回	207 回	232 回
延利用人数	449 人	1,154 人	1,270 人	898 人	1,177 人

◆ボランティアルーム利用状況（ボランティアルーム）

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延利用回数	229 回	163 回	157 回	134 回	189 回
延利用人数	1,404 人	505 人	385 人	409 人	494 人

◆ボランティア交流・発表会

開催日	会場	内容	発表者	観覧者
3月12日（日）	きのと交流館	篠笛の演奏	田村 優子 様	48 人

15. ボランティアセンター推進事業 《ボランティアフェスティバル開催事業》

《住民が市内のボランティア活動団体等を知る機会となるよう、ボランティアセンター運営委員会で内容を検討、協議する》

- ・コロナ禍でもつながりが絶えないよう、感染対策を行い活躍するボランティア団体等同士の交流や、福祉の輪を広げることのほか、気軽に住民が活動に参加できる場を提供した。

開催日	会場	目的	来場者数
10月30日（日）	ほっとHOT ・中条	ボランティアフェスティバル in たいない	130 人

16. ボランティアセンター推進事業 《災害ボランティア研修事業》

《参加者の意見等に基づき、企画内容、時期等検討し、実施する》

- ・大規模災害時に備え、地域で円滑な支援体制が構築できるよう人材育成を目的に、開催した。

◆災害ボランティア研修の開催

開催日	会場	講師	内容	参加人数
2月21日(火)	産業文化会館	李 仁鉄 様	災害時の行動、ボランティアセンターとの関り、外部支援者の受け入れる力や住民同士の助け合い、助けられじょうずな学びについて	37人

17. 福祉教育・人材育成事業 《小・中・高校への支援》

《福祉への関心や興味を持ってもらい、福祉の気持ちを持つ人材を育てる》

- ・高齢者疑似体験や、手話・点訳等体験をしてもらう事で、福祉や高齢者について興味や関心が持てるような機会を提供することができた。

◆小・中・高校での福祉教育支援

学校名	支援日	内容・協力団体等
きのと小学校	9月7日(水)	福祉体験学習(高齢者について) 協力: ライフ
	9月21日(水)	福祉体験学習(お茶の間サロンについて) 協力: 中条愛広苑
	10月6日(木)	サロン交流会(ポッチャ) 協力: きのとサロン
	11月17日(木)	サロン交流会(ポッチャ) 協力: きのとサロン
	2月16日(木)	サロン交流会 協力: きのとサロン
胎内小学校	10月15日(土)	にこにこ体験フェスティバル(福祉体験学習)
築地小学校	10月22日(土)	ついじわくわくキッズジョブ(福祉体験学習)
県立中条高校	12月13日(火)	手話 協力: 手話サークル「かえで」
	15日(木)	
	12月22日(木)	点訳 協力: 中条点訳グループ「ほたる」

◆ボランティア活動機器・器具の貸し出し

学校名	貸出期間	品目
きのと小学校	9月7日(水)	高齢者疑似体験セット 10セット 車イス 10台
胎内小学校	10月15日(土)	高齢者疑似体験セット 2セット
築地中学校	11月17日(木)	高齢者疑似体験セット 7セット 車イス 7台
中条高校	1月16日(月)	白杖 7本

18. 福祉教育・人材育成事業 《たいないきれい隊》

《住民、企業等へ広く周知し、実施する》

・年齢問わず参加しやすい身近なボランティア活動として大勢の人に参加してもらい自治会や関係機関と連携を図り実施することができた。

◆たいないきれい隊の開催

開催日	会場	内容	参加者数
6月25日(土)	笹口浜海岸	笹口浜区と合同での海岸清掃	138人
10月1日(土)	中村浜海岸	中村浜区と合同での海岸清掃	146人

19. 福祉教育・人材育成事業 《ジュニア福祉スクール》

《前年度の状況から企画の見直し・検証を行い、さらに児童や生徒の興味関心を引き付けるような内容を企画する》

開催日	会場	内容	参加者数
8月3日(水)	胎内市産業文化会館	車椅子体験、高齢者擬似体験、ぼっちゃ体験を計画 コロナ感染拡大により中止	—

20. 福祉教育・人材育成事業 《24時間TVチャリティー募金》

《これまでの実施状況等から、検討、協議を行う》

・街頭募金は実施せず、社協事務所で募金箱を設置し募金をつのった。

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
実施箇所数	2か所	2か所	社協窓口	社協窓口	社協窓口
募金額	272,519円	250,234円	4,269円	12,300円	2,931円

◆24時間TVチャリティー募金の実施

開催日	内容	募金額
8月22日(月) ～8月26日(金)	社協窓口募金のみで実施	2,931円

21. 共同募金事務・運動

《共同募金への市民の理解を深める》

①共同募金のつかいみちについて社協だより、お茶の間サロンなどの機会を捉えて周知に努めた。

②助成審査委員会を開催し適切に助成を行った。

◆共同募金助成審査委員会の開催

開催日	会場	内容
5月11日(水)	ほっとHOT ・中条	令和5年度助成計画の審査 一般募金 サロン団体 43団体 ボランティア団体 26団体 福祉団体 5団体 社協事業 7事業 歳末募金 社協事業 6事業
2月16日(木)	ほっとHOT ・中条	令和4年度共同募金助成金の返還金について 令和4年度の実績について 実績額確定による助成額の調整について

◆共同募金の実績(一般募金)

(単位:円)

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
戸別募金	4,148,150	4,136,504	4,139,272	4,134,781	4,121,198
法人募金	1,485,000	1,469,000	1,464,000	1,422,000	1,377,000
街頭募金	65,347	55,362	13,338	4,954	6,979
職域募金	402,294	352,469	350,098	363,999	318,853
学校募金	129,618	112,763	118,468	135,462	124,406
大口募金	491,000	480,000	468,000	453,000	446,000
団体募金	176,427	184,903	176,500	156,010	149,595
その他	134,713	175,060	151,928	98,391	143,533
計	7,032,549	6,986,853	6,881,604	6,768,597	6,687,564

◆共同募金の実績(歳末募金)

(単位:円)

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
戸別募金	1,667,960	1,660,610	1,660,470	1,657,445	1,652,620
職域募金	223,146	244,064	238,545	227,788	203,921
団体募金	206,407	213,100	205,379	196,746	199,085
その他	10,075	28,573	2,038	6,981	1,074
計	2,107,588	2,146,347	2,106,432	2,088,960	2,056,700

◆義援金実績額

内容	義援金額
新潟県大雨災害義援金	11,717円

2.2. 生活福祉資金貸付事業

《近年の状況から、資金貸付だけでなく、必要な場合は他支援、他機関へ繋げる》

・せいかつ応援センターとの連携を図り、貸付に繋ぐことができた。

◆相談延件数実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
一般相談	6件	19件	33件	30件	14件
コロナ相談			135件	76件	27件

◆生活福祉資金貸付実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
貸付件数	4件	11件	34件	10件	4件
貸付金額	566,000円	1,130,000円	99,000円	1,050,000円	195,000円

◆コロナ特例貸付実績

年度/内容	R2年度	R3年度	R4年度
貸付件数	33件	48件	14件
貸付金額	5,740,000円	13,478,000円	2,250,000円

2.3. 地域福祉活動計画進捗管理事業

《地域福祉活動計画を通して、住民が地域福祉活動に取り組めるよう市と連携し計画の周知と第5次計画の見直し、検討を進める》

・第5次計画策定に向け、市内に居住する18歳以上の1,000人の方々を無作為に抽出し、アンケート調査を行った。

開催日	会場	内容
7月7日(木)	胎内市役所	<p><第1回計画推進委員会></p> <p>①地域ちやぶ台プラン3の実施状況について</p> <p>②時期計画策定の検討について</p> <p>ア. 提案事項について</p> <p>イ. 今後のスケジュールについて</p> <p>ウ. 市民アンケートについて</p>
10月28日(金)	ほっとHOT ・中条	<p><作業部会1回目></p> <p>①アンケート結果の分析等について</p> <p>②胎内市地域福祉活動計画の検討について</p>
11月21日(月)	ほっとHOT ・中条	<p><作業部会2回目></p> <p>胎内市地域福祉活動計画の検討</p>
2月17日(金)	胎内市役所	<p><第2回計画推進委員会></p> <p>地域ちやぶ台プラン4計画(案)の検討について</p>

3月20日(月)	胎内市役所	<第2回計画推進委員会> ①地域ちやぶ台プラン4の修正(案)について ②概要版の配布について
----------	-------	--

24. フードバンクバンクたいないへの協力(フードドライブ)

《フードドライブを実施することにより、SDZsを進めフードバンクたいないへ協力する》

- ・6月から毎月第3金曜日に社協カウンター前で、フードドライブを開催した。
- ・社協だより、サロン等でフードドライブの周知を図った。

◆社協窓口におけるフードドライブの実績

年度/内容	R3年度	R4年度
窓口寄付件数	70件	84件
延べ個数	1,698個	1,449個

◆イベントにおけるフードドライブの実績

開催日	会場	内容	件数	数量
10月30日	ほっとHOT ・中条	ボランティアフェスティバル	7件	36個

◆定期的(毎月第3金曜日)なフードドライブの実績

開催日	会場	内容	件数	数量
6月17日(金)	ほっとHOT・中条	フードドライブ	2件	18個
7月15日(金)	〃	〃	1件	4個
8月19日(金)	〃	〃	2件	9個
9月16日(金)	〃	〃	9件	69個
10月21日(金)	〃	〃	1件	6個
11月18日(金)	〃	〃	3件	11個
12月16日(金)	〃	〃	3件	31個
1月20日(金)	〃	〃	1件	9個
2月17日(金)	〃	〃	2件	67個
3月17日(金)	〃	〃	0件	0個

【生活支援係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①障がい者・児相談支援事業では、利用者の状況に合わせ関係機関との連携を図り支援を進めることができた。また相談件数の増加に伴い、相談支援員（兼務職員）を1名増員し体制整備をした。
- ②日常生活自立支援事業では、関係機関と連携し、支援の適正かつ効率化を進めるとともに事業周知や生活支援員の体制整備を行い、利用者の権利擁護に努めた。
- ③生活困窮者自立支援事業ではコロナ禍や物価高騰が続く中、相談件数が増加傾向にあったため相談員を1名増員し体制整備をした。また関係機関との連携を図りながら利用者とともに生活再建にむけた取り組みを進めることができた。

1. 障がい者・児相談支援事業

《①相談支援専門員の専門性の向上を目指す ②相談支援従事者初任者研修の受講を継続して進める》

- ・利用者の意思及び権利を尊重し、市役所や障害福祉サービス事業所等との連携を図り、自立した日常生活・社会生活を実現できるよう努めた。
- ・7月から相談の人員体制を強化し、兼務職員1名を増員し、利用者の新規受入れを開始した。
- ・障がいの特性に合わせた相談に対応できるよう、支援に必要なスキルを得るために研修に計画的に参加した。

◆一般相談実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談実人数（者）	56人	43人	47人	49人	57人
相談延べ件数（者）	874人	937人	873人	747人	1006人

◆計画相談実績

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
計画作成人数	40人	37人	43人	37人	43人
モニタリング人数	41人	58人	53人	52人	65人

2. 日常生活自立支援事業

《①市や関係機関に対して事業の周知を図る ②利用状況に合わせ生活支援員を確保する》

- ・利用者の他、日常的な金銭管理に課題を抱えている等の相談やカンファレンスに参加し、対象者の権利擁護に努めた。
- ・新規利用者に伴い、生活支援員を1名増員し、支援の体制整備をした。
- ・専門員や生活支援員が資質向上を図るため、研修等に参加した。
- ・事業に関する問い合わせが13件あり、うち1件は利用につながった。
- ・市内の郵便局（14箇所）へ事業説明及びチラシの設置を依頼した。

◆新規契約者

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症高齢者	4 人	0 人	0 人	2 人	1 人
知的障がい者	2 人	2 人	2 人	0 人	0 人
精神障がい者	4 人	1 人	0 人	1 人	0 人
計	10 人	3 人	2 人	3 人	1 人

◆実利用人数

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
認知症高齢者	4 人	3 人	3 人	6 人	5 人
知的障がい者	2 人	3 人	6 人	4 人	4 人
精神障がい者	4 人	5 人	4 人	5 人	4 人
その他	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
計	10 人	11 人	13 人	15 人	13 人

◆生活支援員の配置状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
登録者数	4 人	6 人	8 人	9 人	9 人
内、活動者数	4 人	6 人	7 人	8 人	9 人
支援延べ人数	180 人	217 人	246 人	481 人	224 人

3. 福祉タクシー券発行事業

《利用者にとって使いやすいタクシー券の発行を進める》

- ・タクシー券を支給し交通費を一部助成することにより、障がい者の社会参加を助長し福祉の向上に努めた。
- ・本事業との締結タクシー会社は19社。(昨年度中に1社廃業)

◆申請者の状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
身体障害者手帳	78 人	81 人	80 人	85 人	89 人
療育手帳	36 人	36 人	35 人	41 人	36 人
精神保健福祉手帳	54 人	55 人	61 人	69 人	65 人
計	168 人	172 人	176 人	195 人	190 人

◆発行枚数と使用枚数の状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
身体障害者手帳	2,046 枚	2,631 枚	2,712 枚	4,795 枚	4,854 枚
〃 使用枚数	1,112 枚	1,196 枚	1,288 枚	2,687 枚	2,756 枚
療育手帳	1,263 枚	1,254 枚	1,143 枚	2,225 枚	1,980 枚

〃 使用枚数	725 枚	704 枚	716 枚	1,300 枚	1,181 枚
精神保健福祉手帳	1,437 枚	1,827 枚	1,995 枚	3,805 枚	3,674 枚
〃 使用枚数	1,100 枚	1,079 枚	1,186 枚	2,356 枚	2,449 枚

※R3年度より利用者の利便性を考慮しデマンドタクシーも利用できるように改善した。
また、福祉タクシー券の利用可能年間枚数を36枚から60枚に変更。タクシー券1枚500円から300円に使用できる金額を変更。1年間の使用可能な金額は同額としている。

4. 地域支えあいマップ作成事業

《①事業の周知を行う ②地区担当者や各課との連携強化を図る》

- ・支え合いマップの新規作成地区及び既存地区への継続支援を行った。
- ・地域福祉委員会において、班別避難支援の取り組みの紹介をした。
- ・市の個別避難計画作成モデル事業に協力し、地域に出向き支援した。

◆新規地区の支援

開催日	地区	内容	参加人数
4月17日(日)	並槻地区	避難者支援 班別マップ作成	23人
7月8日(金)	村松浜サロン	避難支援についての講和	25人
8月6日(土)	仁谷野地区	避難者支援 マップ作成	13人

◆継続地区の支援

開催日	地区	内容	参加人数
5月20日(金)	坂井サロン	支え合いマップ見直し	10人
6月16日(木)	乙(1ブロック)	組別マップ作成(更新)	35人
6月17日(金)	〃(2ブロック)	〃	20人
6月20日(月)	〃(3ブロック)	〃	18人
6月21日(火)	〃(4ブロック)	〃	20人
6月23日(木)	〃(5ブロック)	〃	16人
7月15日(金)	苔実サロン	支え合いマップ見直し	25人
1月13日(金)	苔実サロン	支え合いマップ作成	21人

5. 生活困窮者自立支援事業 《自立相談支援事業》

《相談がしやすい体制を整える》

- ・相談者に合わせた方法で相談の受付や支援を実施。(電話、訪問、来所、メール等)
- ・関係機関と連携し、利用者の意向に沿って支援を実施。
- ・生活困窮者の自立に向け、本人の状況に応じた相談支援を行うとともに、就労支援やその他生活支援を実施。
- ・胎内市の生活支援給付金支給事業への協力。
- ・胎内市自立支援機能強化事業補助金の活用により生活応援セットを50世帯へ配布。

◆せいかつ応援センター胎内市社協相談件数

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規相談実人数	77人	70人	109人	76人	48人
相談実人数	160人	172人	233人	210人	182人
相談延べ人数	2,417件	2,923人	3,062人	3,565人	3,921人

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	249	217	251	214	210	218	230	164	164	227	217	228

◆主な相談内容別件数

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
金銭関係	929件	1,011件	1,180件	1,114件	1,249件
就労関係	508件	481件	517件	594件	597件
生活全般	239件	271件	350件	629件	641件
ひきこもり関係	66件	125件	96件	82件	116件
その他	675件	1,035件	919件	1,146件	1,318件
計	2,417件	2,923件	3,062件	3,565件	3,921件

◆プラン策定件数

年度/内容	H30年度	R1年度	2年度	R3年度	R4年度
プラン策定件数	14件	33件	18件	33件	36件

◆ネットワーク会議及び支援調整会議の開催

- ①せいかつ応援ネットワーク会議への参加（年2回）7月14日、2月9日
- ②生活困窮者自立支援調整会議の実施（2か月に1回）
5月12日、7月14日、9月8日、11月10日、2月9日、3月9日（計6回実施）

◆その他の活動

- ①各種団体等への周知活動
民生児童委員協議会での事業説明をした。
市内の郵便局（14箇所）へ事業説明及びチラシの設置をした。
- ②各種研修会等への参加

6. 生活困窮者自立支援事業 <就労支援事業>

- <<①事業の周知活動をする ②中間的就労先の開拓をする>>
- ・利用者の状況に合わせ、関係機関と連携し就労支援をする。

◆就労者数の状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
一般就労実人数	8 人	6 人	11 人	9 人	7 人
就労支援実人数	2 人	5 人	9 人	13 人	14 人
生活保護受給者等利用実人数	9 人	1 人	6 人	5 人	7 人

◆その他の活動

- ①生活保護受給者等自立促進事業協議会への参加
- ②教育相談体系化連携事業運営協議会への参加

7. 生活困窮者自立支援事業 《家計改善支援事業》

《法専門職や各種事業（日自・福祉資金・後見）と連携を強化する》

- ・利用者の状況に合わせて家計の支援を実施した。

◆家計相談支援事業の利用状況

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
利用状況	13 人	6 人	14 人	14 人	14 人

◆にいがたセーフティネット事業（生活資金給付事業）の実績

年度/内容	R2 年度	R3 年度	R4 年度
実利用者数	1 人	5 人	5 人
給付額	10,000 円	50,000 円	50,000 円

◆フードバンク等の活用 利用者全体の48.3%がセンター相談者

- ・令和3年6月10日に胎内市フードバンク協議会を設立。運営協力及び支援を実施。
- ・定期的にフードドライブを開催。（毎月第3金曜日）
- ・フードバンク事業の周知。（社協だよりやチラシの活用）

◆新型コロナによる生活福祉資金特例貸付に関する支援（4年9月末で貸付受付終了）

年度/内容	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
実相談者数			51 人	61 人	17 人
延べ相談数			117 件	109 件	33 件

◆日常生活自立支援事業の活用及び連携

8. 生活困窮者自立支援事業 《子どもの学習・生活支援事業》

《事業の利用状況をまとめ、分析する》

- ・関係機関と連携を図り、個々に応じた学習及び生活支援について実施した。

- ・コロナ禍でも継続した学習の機会を提供できるよう、検討し、中学生については集団指導での学習を6月から開始した。(水・土曜日)
- ・7月に校長会への事業説明及び各小・中学校へのチラシの配布にて事業周知した。
- ・集団指導担当者連絡会及び指導者の情報交換会を開催した。

◆子どもの学習・生活支援の利用状況

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学生実人数	10人	9人	9人	8人	6人
中学生実人数	4人	2人	2人	5人	5人
延利用回数	538回	445回	310回	298回	430回

◆学習支援指導者登録数

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
指導者登録人数	12人	13人	15人	14人	13人
実活動人数	8人	7人	4人	7人	5人

9. 生活困窮者自立支援事業 《その他の生活支援・ひきこもり支援》

《ニーズに合わせた方法での「ほのICHI」を開催する》

- ・ひきこもり支援の相談が増加し、新発田保健所や保健師等と連携を図り支援した。

◆ひきこもり当事者の会「ほのICHI会」の開催

R3年度開催日	参加人数	R4年度開催日	参加人数
4月20日(火)	5名	4月19日(火)	中止
5月20日(木)	5名	5月17日(火)	2名
6月1日(火)	5名	6月21日(火)	1名
6月15日(火)	3名	7月19日(火)	3名
7月6日(火)	2名	8月16日(火)	中止
7月20日(火)	3名	9月20日(火)	2名
8月3日(火)	5名	10月18日(火)	2名
8月17日(火)	4名	11月15日(火)	2名
10月19日(火)	3名	12月20日(火)	中止
11月16日(火)	2名	1月17日(火)	1名
12月21日(火)	2名	2月21日(火)	1名
11回実施	計43名	8回実施	計14名

- ・令和3年度に参加していた人が、今年度は就労等により減少した。

【地域包括係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①成年後見制度に関する相談の増加に対し、ご本人またはご家族等に対して制度の概要を説明し、相談内容に合わせて法の専門職等と連携を図って申立支援を行った。
- ②通いの場やサロンでの介護予防支援の他、たいない健康度チェックリストを実施し、該当者へ個別の訪問等を行い健康状態の確認や地域の把握を行い支援に繋げた。
- ③地域福祉課で地区担当会議や勉強会で、個の事例を通して地域課題の把握や抽出を行い、地域づくりや支援の仕組みづくりの検討を行った。

1. 包括的支援事業

「高齢者及び地域住民にとって、大きな安心と支えになるような丁寧な対応と適切な支援を実施します。」

総合相談事業

◆総合相談

- ・把握した相談内容をもとに、定期的に情報を整理し、緊急性の有無および対応について共有した。また、これらの情報を集計し、地域の特性の把握と今後の活動の方向性について検討した。
- ・丁寧な相談が行えるように、相談者の相談内容を受け止め、生活状況を把握しながら、適切な制度、サービス、関係機関につなぐなど個別に支援した。
- ・相談内容に合わせて、主任介護支援専門員、看護師、社会福祉士の3職種で担当を決め、専門性を発揮しながら継続的に支援を行った。

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
延べ相談人数	3,608人	3,454人	3,566人	3,374人	3,768人
実相談人数	413人	395人	426人	447人	467人

◆権利擁護

- ・消費者被害を未然に防ぐために、市内の4包括の社会福祉士、市商工観光課、新発田警察胎内分庁舎の担当者や寸劇や講話を通して啓発活動を行った。
- ・高齢者虐待・成年後見制度・消費者被害の相談対応では、利用者又は家族等の意向や生活状況を確認し、状況に適した制度またはサービス等の紹介・提案のほか、必要な関係機関につなぎ、問題の早期解決を目指した。

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
消費者被害防止勉強会	6地区 71人	3地区 42人	3地区 54人	1回 福祉大会	6地区 81人
権利擁護に関する相談	5件 (実4人)	7件 (実5人)	13件 (実9人)	24件 (実9人)	10件 (実6人)
高齢者虐待への対応	12件 (実4人)	6件 (実3人)	16件 (実5人)	74件 (実13人)	12件 (実6人)

成年後見に関する相談	3件 (実2人)	13件 (実6人)	7件 (実4人)	11件 (実5人)	44件 (実9人)
------------	-------------	--------------	-------------	--------------	--------------

◆包括的・継続的ケアマネジメント事業

- ・民生児童委員情報交換会は、各地域の災害時の対応についての情報交換を行った。
- ・サロン支援を通して、生活や健康状態の確認と地域の世帯構成や見守り、助け合いの状況、課題を把握した。
- ・地域福祉課で地区担当会議や勉強会で、地域課題の把握や抽出を行い、支援の仕組みづくりの検討を行った。
- ・介護支援専門員に対する研修会等を他包括、居宅支援事業所の主任介護支援専門員と企画した。又、困難ケースについては介護支援専門員と相談しながら支援した。

内容/年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
民生児童委員情報交換会	2回	2回	2回
定例地域ケア会議、研修	6回	7回	6回
ケアマネージャー支援	7回	32回	50回
ケア向上研修会	6回	4回	4回
認知症研修会	4回	7回	5回
胎内市介護支援専門員連絡会	1回	1回	1回
各種研修会参加	27回	23回	38回
個別地域ケア会議開催	3回	0回	0回

◆その他

- ・社会福祉の発展と後継者育成のため社会福祉士を目指している学生一人の実習を受け入れた。

内容/年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
社会福祉士実習生受入人数	1人	3人	1人

2. 認知症高齢者見守り事業

《関係機関との連携や地域における支援体制の構築を図りながら、幅広い世代に認知症への関心や理解を深めてもらえるような働きかけを行います。》

- ・認知症サポーター養成講座では、中条中学校での開催が初めてで中学生が興味を示し認知症について理解を深められるように、YouTube やグループワーク、オンラインでの発表会などを取り入れて開催した。
- ・認知症市民セミナーや講演会を市や他包括と協働し、認知症街歩き見守り声掛け模擬訓練の企画と運営に参加した。ポスターやのぼりなどを新たに作成し、認知症の理解や興味をもってもらえるよう努めた。
- ・認知症カフェの企画・運営に参加した。

◆認知症サポーター養成講座の開催

開催日	内容	対象者	参加者数
7月5日(火)	認知症 サポーター養成講座	中条中学校1年生	121人

内容/年度	R2実績	R3年度	R4年度
認知症キッズサポーター 養成講座受講学校数	1校	1校	1校
認知症キッズサポーター 養成講座受講人数	50人	51人	121人
認知症サポーター養成講座 受講者地区数	1地区	1地区(企業)	0地区
認知症サポーター養成講座 受講者人数	26人	21人	0人

3. 地域介護予防活動支援事業

＜サロン支援で地域の声を確認し、通いの場に興味をもって参加する候補地域を決めます。また、1か所以上の地区で通いの場の立ち上げ支援に取り組めるよう、方法の検討や実践を繰り返していきます。さらに、通いの場立ち上げ後の地域を把握し、地域に合わせた方法で継続支援を行います。＞

- ・担当地区内のみならず全域対象の通いの場やサロンへ出向き、フレイル予防体操、たいない健康度チェックリストの実施及び該当者に対するマネジメント等を理学療法士や薬剤師、生活支援コーディネーター等の専門職と連携した訪問を行いながら参加者の健康状態の確認や地域住民の把握を行い支援に繋げた。

◆令和4年度サロン支援の状況

支援地区	回数	延べ人数
レガール星の宮(星の宮)	2回	19人
いいとも会(飯角)	3回	34人
あじさい会(新館)	2回	17人
此の木会(柴橋)	1回	16人
寿美友会(住吉町)	2回	25人
大川町なかよし会(大川町)	1回	9人
八寅会(八田・寅田)	1回	8人
船戸元気会(船戸)	3回	34人
並木ふれあいサロン(東本町)	1回	12人
駅前通りなかよし会(表町)	1回	10人
関沢福祉会(関沢)	1回	9人
合計 11地区	18回	193人

内容/年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
サロン 支援地区数	7 地区	8 地区	11 地区
支援回数	12 回	18 回	18 回
延べ参加者数	95 人	201 人	193 人

◆通いの場・継続支援の状況

支援地区	回数	延べ人数
北本町宅通いの場	11 回	37 人
西町お茶会通いの場	3 回	41 人
つつじが丘通いの場	2 回	20 人
ほのぼの茶屋通いの場	1 回	4 人
長橋にこにこ会通いの場	1 回	15 人
新栄町元気会通いの場	1 回	18 人
スマイル工房半山通いの場	1 回	13 人
自然いきいき友の会通いの場	1 回	15 人
チームベにはるか通いの場	1 回	23 人
草野ふれあい会通いの場	1 回	9 人
合計 10 地区	23 回	195 人

◆新規通いの場立ち上げ支援地区

- ・関係者と連携しながら新規通いの場立ち上げ支援、地域や個人宅での通いの場が継続できるような場に応じた支援内容・頻度を考慮して、参加者やリーダーを担う方等を募りながら支援した。

支援地区	回数	参加者数
東本町（大輪寺）	8 回	76 人
ときの会（ほっと HOT・広域）	6 回	123 人
合計 2 地区	14 回	199 人

内容/年度	R2 実績	R3 年度	R4 年度
通いの場 支援地区数	9 地区	10 地区	10 地区
新規立上げ支援地区数	2 地区	1 地区	2 地区
支援回数	31 回	43 回	37 回
延べ参加者数	327 人	327 人	394 人

◆通いの場説明・体験支援地区

- ・サロンへ出向き、住民主体による介護予防のための通いの場についての目的や内容を説明し立ち上げに向けて地域へ周知した。

いいとも会（飯角） ※サロン支援に含む	1 回	10 人
---------------------	-----	------

4. 介護予防支援事業

《要支援1・2認定者に対して、介護予防サービスを活用し地域のつながりや資源を把握し取り入れ、自立に向けたプランを作成しサービス調整を行います。》

- ・利用者の支援を通じて、地域のつながりや資源を把握し取り入れ、自立に向けたケアプランを作成しサービスの調整を行った。
- ・個人の支援から地域の困りごとの把握に努め、民生委員や社協 地域福祉係と情報共有や対応の検討を行った。
- ・利用者数の増加に伴い居宅介護支援事業所への委託をすすめ、丁寧なケアマネジメントと切れ目のない支援ができるように努めた。

◆介護予防支援ケアマネジメント

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規件数	29件	30件	35件	34件	30件
給付管理計	817件	900件	918件	1,016件	1,040件
内、委託件数	133件	208件	268件	290件	371件

5. 介護予防ケアマネジメント事業

《要支援1・2及び事業対象者に対して、介護予防・生活支援サービスや一般介護予防事業を活用し、地域のつながりや資源を把握し取り入れ、自立に向けたケアプランを作成しサービスの調整を行います。》

- ・利用者の自立に向けて、訪問Cやすこやか教室など利用者の状態に合わせたケアプランを作成しサービスの調整をし、地域での活動へと移行を支援した。
- ・訪問や面談時に、地域との関わりや困りごとを把握に努め、必要時は民生児童委員や区長と情報を共有し支援に繋げた。

◆マネジメントⅠ

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規件数	20件	7件	9件	13件	10件
給付管理計	363件	338件	273件	296件	290件
内、委託件数	39件	76件	49件	53件	73件

◆マネジメントⅡ

年度/内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
すこやか教室	21人	20人	21人	21人	17人
すこやか強化型	-	-	-	-	2人
リハビリ特化型	-	1人	4人	1人	3人
福祉有償運送	-	-	4人	2人	7人

介護課 事業報告

第3次社協発展強化計画のミッション

1. 胎内市社会福祉協議会は、住民同士のつながりを深め、問題をみんなのこととして考えられる地域づくりを目指します。
2. 胎内市社会福祉協議会は、みんなが安心して笑顔で暮らせる地域づくりを目指します。

【居宅介護支援係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①社会資源の情報収集に努め職員間で共有し、利用者支援に役立てた。
- ②コロナ流行で通所施設等が閉鎖したときに代替えサービスを調整し支援した。
- ③知っ得情報お届け講座で地域の人と情報交換する時間を確保し、地域の困りごとや知りたい情報を収集することができた。

1. 居宅介護支援事業（ケアマネジャー）

「住み慣れた地域でその人らしく自立した生活がおくれるように、地域や関係機関と連携し、適切なサービスを提供する。」

- ・利用者が適切なサービスを受けられるようケアプランを作成し、介護サービス事業所との調整を行った。
- ・新型コロナウイルスの感染対策としてオンライン研修の環境を整備し、オンライン研修会に参加、資質の向上に努めた。

◆居宅介護支援事業所体制

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
職員数	4人	4人	3人	2人	2人

◆居宅介護支援事業所ケアプラン作成状況

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
作成人数	207人	161人	142人	68人	51人
総合事業	12人	22人	24人	23人	11人
要支援	131人	179人	197人	107人	151人
要介護	1,186人	1,067人	993人	825人	810人
訪問延べ人数	1,329人	1,268人	1,214人	955人	972人

◆研修会への参加実績

研修名	回数
地域ケア会議	1回
ケア向上研修会	5回

内・外部研修	10回
ケアマネ連協研修	1回

2. 知っ得情報お届け講座

《希望する講座内容に応じ、専門職の協力を得ながら役立つ情報を地域の人に広く知ってもらえるよう情報発信します。また、気軽に話せる場として地域の困りごとや課題を見出し、内容に応じ適切な機関につなぎます。》

- ・地域の方たちにとって興味があり役に立つ情報をお届けできるように内容を検討した。
- ・知っ得情報お届け講座を社協だより等に掲載しPRした。
- ・地域の方と懇談を行い、困りごとなどの情報を収集し解決できるように努めた。

◆業務実績

開催日	対象者	内容	参加者数
7月15日（金）	坂井サロン	高齢者虐待について	20人
9月28日（水）	長橋サロン	介護保険制度について	30人

【在宅介護係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ流行期もサービス提供体制を継続するため、感染対策に取り組んだ。
- ②喀痰吸引サービスを提供するため研修、事業所登録を行った。
- ③働きやすい職場環境の整備、若手職員の育成に努めた。

◆在宅介護係職員体制

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
サービス提供責任者数	5人	4人	3人	3人	3人
常勤ヘルパー数	0人	0人	0人	0人	1人
パートヘルパー数	21人	19人	20人	18人	18人

◆研修会への参加実績

内容	回数
業務連絡改善会議	10回
内部研修	9回
社協職員研修	2回
外部研修	3回

◆ヒヤリハットの状況

ヒヤリハットの件数	48 件
-----------	------

1. 訪問介護事業（ホームヘルパー）（介護保険の訪問介護事業）

《身体や生活状況に応じた専門性の高いサービスを提供する。》

- ・定期的にモニタリングを行いサービス内容の検討、見直しを行った。
- ・新型コロナウイルスの感染対策として、集合型研修をオンライン研修会等に切り替え、資質の向上に努めた。

◆訪問介護利用実績

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
延べ利用人数	11,987 人	9,779 人	9,470 人	7,058 人	7,318 人

2. 訪問型第1号訪問事業（胎内市介護予防のホームヘルパー）

《自立した生活ができるように、可能な能力を引き出したサービスを提供する。》

- ・定期的にモニタリングを行いサービス内容の検討、見直しを行った。
- ・身体状況を見極めながら自立支援につなげたサービス提供を行った。

◆胎内市介護予防ホームヘルパー利用実績

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
国基準	2,979 人	2,799 人	2,578 人	2,221 人	1,796 人
サービスA	945 人	958 人	930 人	652 人	471 人
延べ利用人数	3,924 人	3,757 人	3,508 人	2,873 人	2,267 人

3. 障がい福祉サービス事業（障がい者・児のホームヘルパー）

《身体や生活状況に応じた専門性の高いサービスを提供する。》

- ・喀痰吸引事業、同行援護事業等、サービス提供体制を整備した。
- ・利用者の事例検討や、同行指導を行い技術向上に努めた。

◆障がい福祉サービス事業利用実績

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
居宅介護	3,281 人	2,006 人	2,612 人	1,987 人	2,041 人
同行援護	14 人	20 人	11 人	22 人	13 人
重度訪問介護	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
行動援護	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
延べ利用人数	3,295 人	2,026 人	2,623 人	2,009 人	2,054 人

4. 障がい者移動ヘルプ事業（ガイドヘルパー）

《通院や行政手続き等の外出支援のため、障がいに応じた移動介助サービスを提供する。》

- ・情報収集、アセスメントを行い安全な外出介助サービスを提供した。

◆障がい者移動ヘルプ事業実績

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
延べ利用人数	14人	28人	137人	132人	471人

【通所介護係】

重点的に取り組んだ事業及び内容

- ①利用者及びその家族が安心して利用できるよう、職員間や家族、関係機関と蔓延防止の情報共有を行うなどの感染対策を徹底した。
- ②働きやすい職場と安定した施設運営を目指し、職員体制の整備を行った。
- ③利用者及び家族が安心して利用できるよう、職員と家族間での情報共有を徹底した。

◆栗木野荘 通所介護及び介護予防通所介護体制（兼務あり）

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
生活相談員	2人	2人	2人	2人	休止
看護職員	3人	3人	2人	3人	休止
介護職員等	6人	7人	6人	3人	休止

◆いわはら荘 通所介護及び介護予防通所介護体制（兼務あり）

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
生活相談員	2人	2人	2人	2人	2人
看護職員	3人	3人	3人	3人	3人
介護職員等	8人	8人	9人	8人	8人

◆サービス向上に向けた研修等の実績

内 容	回 数
業務改善会議	12回

1. 通所介護事業 《介護保険のデイサービス》

《通所により入浴・食事・機能訓練等の機会を提供し、利用者の心身の機能の維持並びに家族の負担軽減を図る。》

- ・職員間で情報共有を徹底し、質の高いサービスの提供に努めた。
- ・支援事業所に新規依頼を行い、利用者確保に努めた。

◆栗木野荘 通所介護事業の実績

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新規利用者数	14 人	18 人	1 人	1 人	休止
実利用者数	51 人	50 人	41 人	36 人	休止
延べ利用者数	5,461 人	5,113 人	4,171 人	2,711 人	休止

◆いわはら荘 通所介護事業の実績

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新規利用者数	16 人	22 人	3 人	18 人	20 人
実利用者数	57 人	56 人	51 人	48 人	70 人
延べ利用者数	5,727 人	5,470 人	5,002 人	3,953 人	4,858 人

2. 通所型第1号通所事業（胎内市介護予防のデイサービス）

《自立した生活が続けられるよう、個々の状態を維持向上できる支援をする。》

- ・ 家族や地域包括支援センター等と連携し、身体状況の維持改善、残存機能を生かしたサービス提供に努めた。
- ・ 自立した生活が続けられるように支援した。

◆栗木野荘 介護予防のデイサービスの実績（国基準）

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新規利用者数	0 人	3 人	0 人	0 人	休止
実利用者数	3 人	6 人	3 人	0 人	
延べ利用者数	681 人	389 人	285 人	0 人	

◆栗木野荘 介護予防のデイサービスの実績（サービスA）

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新規利用者数	0 人	3 人	0 人	0 人	休止
実利用者数	11 人	7 人	7 人	0 人	
延べ利用者数	312 人	434 人	229 人	0 人	

◆いわはら荘 介護予防のデイサービスの実績（国基準）

内容/年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
新規利用者数	2 人	1 人	12 人	8 人	4 人
実利用者数	11 人	16 人	19 人	23 人	24 人
延べ利用者数	583 人	979 人	1,321 人	1,623 人	1,535 人

◆いわはら荘 介護予防のデイサービスの実績 (サービスA)

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規利用者数	2人	1人	1人	1人	4人
実利用者数	9人	8人	9人	9人	4人
延べ利用者数	335人	521人	484人	427人	240人

3. 障がい者・児生活介護事業 (障がい福祉のデイサービス)

《安心して利用できるように、個々の障がいに応じたサービスを提供する。》

- ・体調の変化に留意し、デイサービスを利用することで在宅生活の安定につながった。
- ・モニタリグを関係機関と共有し、本人の意向に沿った支援が提供できるよう、支援内容の見直しを行った。

◆栗木野荘 障がい者・児のデイサービス実績

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規利用者数	0人	0人	0人	0人	休止
実利用者数	1人	1人	1人	0人	
延べ利用者数	49人	65人	21人	0人	

◆いわはら荘 障がい者・児のデイサービス実績

内容/年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規利用者数	1人	0人	2人	0人	1人
実利用者数	2人	2人	4人	3人	4人
延べ利用者数	189人	189人	228人	228人	237人

事業報告の付属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細は作成しない。

社会福祉法人胎内市社会福祉協議会